

!関公大

用舌献対却常

の(一)録本未

監視カメラからビデオの録画予約まで

# 大公開! 常時接続活用の 未体験ゾーン

大公開!  
常時接続活用の  
未体験ゾーン

OCNやフレッツ・ISDNで幕を開けた常時接続の環境も、いまやCATV、ADSLに光ファイバーと、高速ブロードバンドサービスが後を絶たない。読者の中にもすでにそういった高速の常時接続回線を導入した人も多いただろう。しかし、「常時接続環境をどのように楽しんでいるか?」と問われたとき、あなたはいくつ楽しみ方を挙げられるだろうか。「つなぎっぱなし」のメリットを十二分に活かしているだろうか? この記事では、家の内外でできる常時接続の利用法を一挙に紹介する。せっかくの常時接続、これを使いこなさない手はない!

菅野 哲 + 大澤文孝 + 井上尚司 + 編集部

photo : Nakamura Tohru  
illustration : Hasegawa Takako  
撮影協力 : コジマ



# 定番のメールやチャットだけじゃない 常時接続だからできることを

# 大検証

いままでの常時接続の特集では、「電話料金を気にせずインターネットができる」「いつでもメールが受けられる」「ストリーミング放送を見よう」といった家庭での使い方にとどまり、常時接続の恩恵を十分に説明しきれていなかった。それがいまは、家庭内だけでなく、つなぎっぱなしの環境にあるパソコンに外からアクセスすることで、新たな使い道が見出せるようになった。そこで今回は、常時接続だからこそ楽しめることを大検証！実際に何ができるかを細かく説明していこう。

## いままでの常時接続

常時接続を導入して、まず思い浮かぶ恩恵といえば、以下に挙げたとおりだ。いまでこそ、決して新しい話ではないが、OCNエコノミーのサービスが始まって小規模オフィスなどで常時接続の回線を利用できるようになった当時は、うらやましい環境だったと言える。それが、今日のADSLサービスの普及により、個人レベルで急速に常時接続の環境が整ってきた。

ならば、一歩進んだ活用法で常時接続を満喫したいはず。そのヒントが、この記事には隠されている。

## 従来のメリット

- ・ 電話料金を気にしなくて済む
- ・ メールは自動受信でいつでも受けられる
- ・ チャットやり放題
- ・ ウェブは見たいときにいつでも見られる
- ・ ストリーム放送が楽しめる

## 未体験ゾーン

- ・ 監視カメラを設置していつでもチェック
- ・ 自宅のパソコンとデータ共有
- ・ テレビ番組の録画を外から予約する
- ・ インターネットラジオ放送を配信する
- ・ FAXも留守電もウェブで管理する
- ・ 外から自宅の家電をコントロールする

etc.

## 常時接続活用の未体験ゾーンに迫る

今回紹介する「常時接続を活用するための未体験ゾーン」は、まさに右のイラストに示したとおりだ。なかには、ずいぶん前に常時接続回線を導入して、今回紹介する機能のうち、すでにいくつかを使っている人もいられるかもしれない。そんな人にも自信を持って紹介できるテクニックをそろえた。王道から裏ワザ的な用途まで、盛りだくさんだ。

また、従来と大きく異なるのは、家庭で楽しむだけでなく、外から自宅のパソコンにアクセスして、あらゆる機能をリモートで操作する点だ。これにより、常時接続を大いに活用して楽しめるのは間違いない。もちろん、そのぶんセキュリティ面への配慮はしなくてはならない。その情報も144ページに掲載してあるので、各機能を試す前に必ず読んで自分のパソコンを不正なアクセスから守ろう。

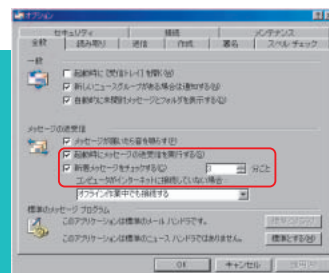
なお、各機能の紹介では、ストレスなく利用できるベスト環境をアイコンで示しているので参考にしてほしい。

## 常時接続で回線を自動切断させない！

常時接続で意外に見落としがちなのが、NTTやプロバイダーによる回線切断だ。「常時接続」とはいえ、ある一定期間パケットが回線を流れないと、NTTやプロバイダーが強制的にその回線を切断してしまうことがある。家庭でのみ常時接続を楽しんでいるなら気にならなかった回線切断も、外からのアクセスを考えると大問題になる。たとえば、ウェブカメラを設置して外からリモートで自宅の中の様子を見ていたとしても、自動切断された時点でウェブカメラは効をなさなくなる。

そこで、自動切断を防いで「いつでもつなぎっぱなし」を実現するには、自宅のパソコンを立ち上げているときにメールソフトを起動して、一定時間ごとに新着メッセージを自動でチェックさせるといだろう。チェック時にパケットを送信するので、常に回線を利用している状況が作れる。また、忘れてはならないのが、TAやルーターの自動切断機能だ。この設定も必ず解除しておこう。

これにより、146ページからの各種の機能が十分に活用できるのだ。



Outlook Expressの設定例。「新着メッセージをチェックする」で、時間の設定をする。なお、外出先でもメールを受信したければ、「メールをサーバーに残す」ように設定しておこう。





### ライブカメラ

自宅のようすを外から監視する。家に残したペットの状態もチェックできる。

### FAX

パソコンでFAXを受信し、ウェブで管理する。  
リモートでFAXの内容を確認できる。



### エアコン

iモードを使って、外から自宅にあるエアコンなどの家電機器を操作できる。



### テレビ&ビデオデッキ

予定外の残業でも安心。見たいテレビ番組はいつでもどこからでも録画が予約できる。



### ラジオ

パソコンでインターネットのラジオ放送が聞けるだけでなく、自分で放送局も作れる。



### パソコン

会社から自宅にあるパソコンを操作できる。同居人の誕生日の即席お祝いにも使える。

### 電話

インターネット電話を使えば、料金も安いし、自分の部屋で気兼ねなく電話できる。



# 「外からアクセス」のために 必須だ!

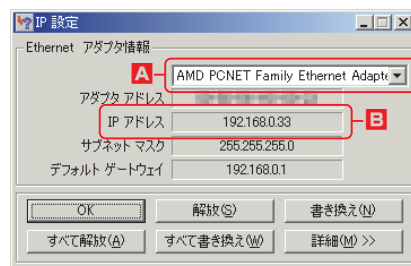
常時接続回線は利点が多い反面、接続環境によっては、いくつかの機能が使えないという欠点がある。また、家庭でダイヤルアップで接続する場合には、ルーターの初期設定で十分で、特に気にする必要がなかったセキュリティ面についても、今回の特集では外からアクセスすることが基本になるため、他人のアクセスを制限するといったいっそうの気配りが必要になる。そこで、本特集で紹介する新活用法を試すにあたり、まずは必要な常時接続の設定方法とセキュリティ面の注意点を解説しよう。

## IPアドレスを確認しよう

自宅が常時接続環境であれば、外からインターネットを通じて自宅のパソコンにアクセスできる。このときアクセス先として指定するのがIPアドレスだ。外からインターネットを通じて自宅のパソコンにアクセスするには、自宅のパソコンに割り当てられたIPアドレスを知らなければならない。パソコンのIPアドレスは、「winipcfg コマンド」を使うと調べられる(Windows2000の場合にはipconfig コマンド)。

こうして自宅のパソコンのIPアドレスがわかったら、次はIPアドレスが「固定かどうか」を考えなければならない。なぜなら、自宅のパソコンをプロバイダー経由でインターネットにつ

なくときはプロバイダーから割り当てられたIPアドレスを使うわけだが、プロバイダーが割り当てるIPアドレスには「固定IP」と「動的IP」の2種類があるからだ。契約時に与えられたIPアドレスが変わることのない「固定IP」と違い、動的IPの場合、インターネットにつないだ回線を一度切断して再接続したり、無通信の状態が一定時間続いたりするとパソコンに割り当てられるIPアドレスが変化する。動的IPの場合には、インターネットに接続するつど、winipcfg コマンドを使って自分のパソコンの



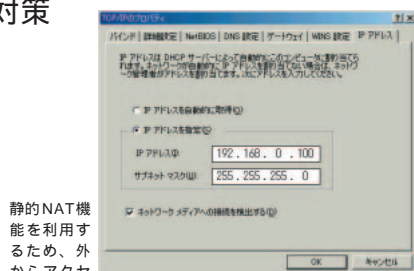
「スタート」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「winipcfg」と入力して「OK」を押す。上の画面のプルダウンメニュー A で Ethernet Adapter を選ぶと IP アドレス B が表示される。

アドレスを調べなければならない。このため、今回紹介する各種の活用法で、外から自分のパソコンにアクセスするような場合には、出かける前に必ずIPアドレスを確認して手元に控えておく必要がある。なお、固定IPか動的IPかは、プロバイダーによって異なるので、事前に問い合わせよう。

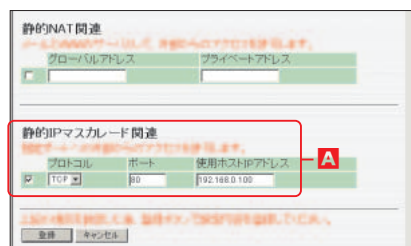
## ルーターの場合のセキュリティ対策

ルーター環境の場合、ルーターにプロバイダーからのIPアドレス(グローバルIP)が割り当てられ、パソコン側では別のIPアドレス(プライベートIP)が使われる。外から自宅のパソコンにアクセスする場合には、パソコンのIPアドレスではなくルーターのIPアドレスを使う。よって事前にルーターの設定画面などから、ルーターのIPアドレスを調べることが必要だ。

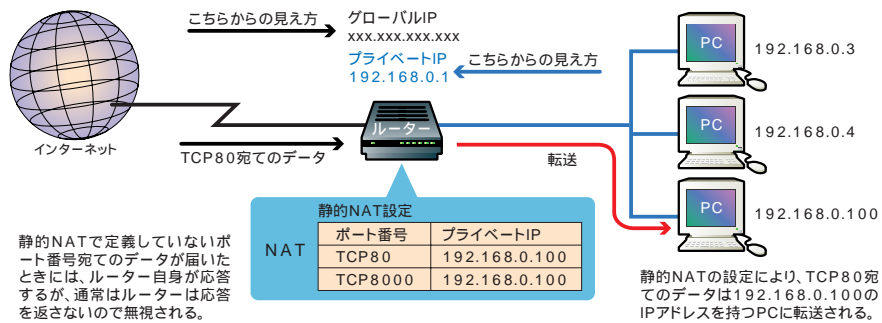
さらにルーターに対して「どのポートに到達したデータをどのパソコンに届けるのか」という「静的NAT」を設定しておかないと正しく動作しない。どのポートを使っているのかがアプリケーションにより異なる。たとえば自宅のパソコンのIPアドレスが192.168.0.100であったとき、そこにウェブサーバーソフトを入れてインターネット側から見せたいときには、「TCPポート80を192.168.0.100に流す」という設定をする。



静的NAT機能を利用するため、外からアクセスするPCのプライベートIPアドレスは固定しておく必要がある。「ネットワークコンピュータ」の「プロパティ」で「TCP/IP」の「プロパティ」を押し、「IPアドレス」タブでIPアドレスを指定する。



ルーターの静的NATの設定。画面はヤマハのルーター「RTA50i」のもの。この機種では、「静的IPマスカレード」という部分 A で、ポート番号とその転送先となるパソコンのIPアドレスを設定する。セキュリティ的に考えると、利用したいソフトのポート番号だけを設定するのが望ましい。





## グローバルIPとプライベートIP

インターネットから自宅のパソコンに接続したい場合には、パソコンのIPアドレスを指定する必要があります。しかし、ルーターを使用している場合は注意しなければならない。というのも、IPアドレスには「プライベートIP」と「グローバルIP」の2種類があるからだ。外から自宅のパソコンにアクセスできるのはグローバルIPが割り振られている場合で、ルーターを使っていると、ルーターがグローバルIPを持つため（CATVなど例外はあ

る）、ルーターにつながったパソコンまでは判別できない。ルーターにつながったパソコンに割り振られているIPアドレスはプライベートIPになる。

ここで、IPアドレスの簡単な見分け方を教えよう。右のIPアドレスの範囲であればプライベートIP、そうでなければグローバルIPだ。プロバイダーからプライベートIPしかもらえなければ、外からのアクセスはできない。

また、グローバルIPはインターネットにつな

ったすべてのマシンを個別に認識できる。プライベートIPを持つマシンに外から接続するためには、ルーター内の「NAT」という機能が必要になる。これはグローバルIPとプライベートIPとを変換する機能だ。

10.0.0.0 ~ 10.255.255.255  
172.16.0.0 ~ 172.31.255.255  
192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

## TAやブリッジ型モデムのセキュリティー対策

ルーターを使っているのであれば、静的NATで設定したデータしかパソコン側に到達できない。しかしTAやブリッジ型モデムで接続している場合には、どのようなデータもパソコンに到達してしまうため、セキュリティーの懸念がある。

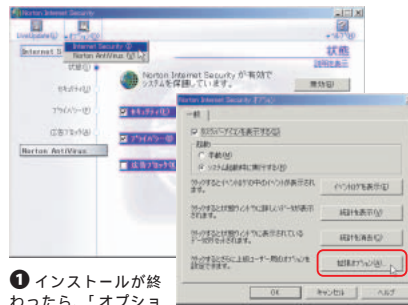
そこで、TAやブリッジ型モデムではどう対処するか。選択肢は2つある。1つ目の方法は、前ページで説明したルーターの静的NAT機能を持つ「IPローカルルーター」を購入し、そこで前ページと同様に静的NATの設定をすることだ。ただしこの方法はUSB接続などでは利用できず、接続方式がイーサネットでなければならない。

2つ目の方法は、シマンテックの「Norton Internet Security」などのセキュリティー対策ソフトをパソコンにインストールすることだ。パソコンが1台しかない場合にはこちらのほうが安価だし簡単だ。ここではNorton Internet Securityを使った設定を解説しよう。

Norton Internet Security  
シマンテック

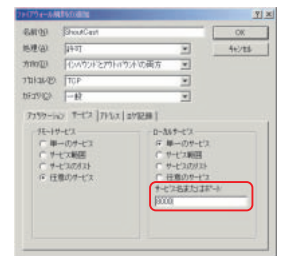
標準価格：9,800円

Jump www.symantec.co.jp

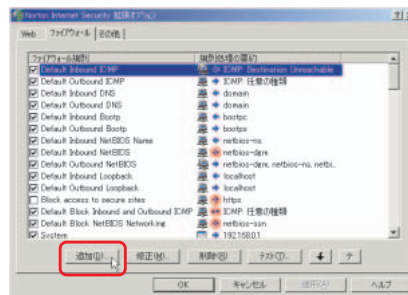


① インストールが終わったら、「オプション」メニューから「Internet Security」を選び、「拡張オプション」を押す。

③ 「名前」にはわかりやすい名前を入力する。「処理」では「許可」を選ぶ。「方向」は、外からのアクセスを許可するなら「インバウンド」、家のPCから外へのアクセスを許可するなら「アウトバウンド」、両者を許可するなら「インバウンドとアウトバウンドの両方」を選ぶ。「プロトコル」は下の表を参考にして必要なものを選ぶ。



④ 「サービス」タブで、「リモートサービス」では「任意のサービス」を選び、「ローカルサービス」では「単一のサービス」を選んで、「サービス名またはポート」に以下の表で示す使いたいソフトのポート番号を指定する。最低限必要なポート番号だけをここで設定しよう。



② 「拡張オプション」画面で、「追加」を押す。

### 本特集で扱うおもなソフトのTCP/UDPポート

利用ソフト	ポート番号
ウェブ関連全般	TCP80
Desktop On-Call	TCP80、TCP25345 ~ TCP25351
EasyFAX PRO 2001EX	TCP80
RVS-COM 2000	TCP80
SHOUTcast	TCP8000
MSN Messenger	TCP6901、TCP7801 ~ 7825、UDP6901、UDP6801、UDP2001 ~ 2120、TCP6891 ~ 6900
BirArena	TCP1821、TCP1822、UDP5004、UDP5005、TCP5567
ただTEL	UDP4000 ~ 4020、TCP8000
ICQ2000	UDP5190 (ICQ99の場合はUDP4000)、TCP2000 ~ 3000

ICQの「Preferences」メニューの「Connections」の設定により若干異なる

### 回線別の最適なセキュリティー対策

利用回線	接続機器	PC台数	対策
フレッツ・ISDN	TA	1台	ダイヤルアップルーターを購入して静的NATの設定をする、または Norton Internet Securityを入れる
	ダイヤルアップルーター	2 複数	1台 静的NATの設定をする、または Norton Internet Securityを入れる
フレッツ・ADSL	ブリッジ型ADSLモデム	1台	IPローカルルーター <sup>1</sup> 、または Norton Internet Securityを入れる
	ルーター型ADSLモデム	複数	静的NATの設定をする
CATV	CATVモデム	1台	Norton Internet Securityを入れる、または IPローカルルーター <sup>2</sup>
	CATVモデム	複数	IPローカルルーター <sup>2</sup>
光ファイバー	ブリッジ型モデム	1台	IPローカルルーター <sup>1</sup> 、または Norton Internet Securityを入れる

1 PPPoE、静的NAT機能対応  
2 静的NAT機能対応

# 外から家の中に アクセス

おすすめの回線とスピード



64 kbps ~

「WebCam Plus」でウェブで監視できるのは静止画だし、そのほか監視用途ならば64k程度でもOKだ。

# I

## 盗難防止からペットのチェックまで

# ウェブカメラで 留守を監視

### こんなときに便利だ!!

- ・会社から自宅のペットのようすを見る
- ・防犯のために使う
- ・遠くに住む祖父母が孫の元気な姿を見る

## 用意するもの

### お手軽 コース



コンパクトなお手軽タイプ。家の監視には十分な画質を提供してくれる。

Video Blaster WebCam Plus  
クリエイティブメディア  
標準価格 6,880円  
[japan.creative.com](http://japan.creative.com)



ドライバや添付のソフトウェアをインストールしたら、USBでPCに接続するだけだ。



監視したい場所に向けてカメラを設置する。小型軽量なので、PCの上に載せてもいい。

### 本格派 コース



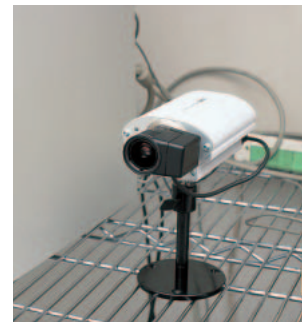
カメラ自体がIPアドレスを持つ簡易ウェブサーバーなので、最初のインストール以外はパソコンは不要だ。インターネットにつながったPCのブラウザのURL欄

にカメラの(グローバル)IPアドレスを入力すれば、カメラが撮影した画面のチェックや環境設定をリモートで行える。なお、IDとパスワードの設定やポート番号の設定(144ページ参照)でセキュリティが守られている。

AXIS 2120 Network Camera  
アクセスコミュニケーションズ  
希望小売価格 138,000円  
[www.axiscom.co.jp](http://www.axiscom.co.jp)



最初にパソコンとイーサネットケーブルで接続し、ブラウザ上で設定する。設定が終わってイーサネットケーブルをルーターにつなげば、インターネット経由で画像を送れて、ブラウザで見られるようになる。



インターネット経由での外からの監視は、ルーターの静的NATの設定を使い(144ページ参照)、URL入力欄にカメラの(グローバル)IPアドレスを入れればOKだ。

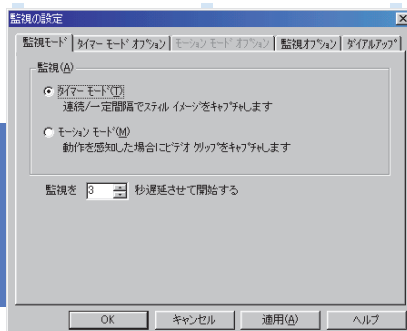
# 設置

# 設定

「お手軽コース」のVideo Blaster WebCam Plusを例に、自宅に監視カメラを設  
置してインターネット経由でアクセスできるように設定してみよう！

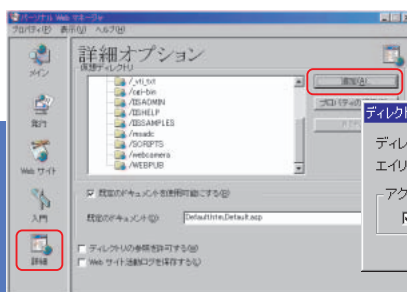
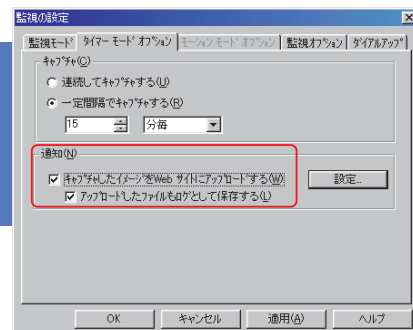


1 カメラをパソコンのUSBに接続すれば、ハードウェアの設定用のウィザードが立ち上がるので、画面に従って設定しよう。設定が完了したら、カメラに付属の「WebCam Monitor」をインストールして起動する。

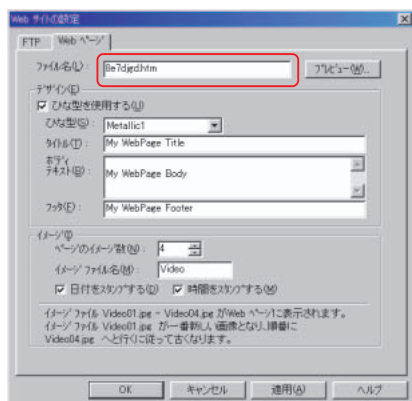


2 ①の画面左上の目のアイコンをクリックし、監視モードの設定をする。

3 監視モードごとに詳細を設定する。「タイマーモードオプション」では、「キャプチャしたイメージをWebサイトにアップロードする」にチェックを付ける。

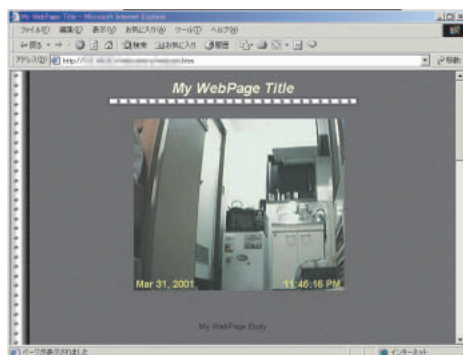
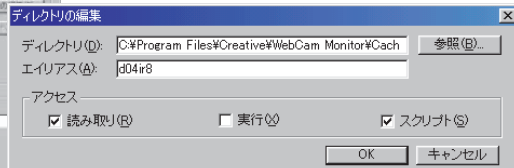


6 「ディレクトリ」欄に「WebCam Monitor」がHTMLファイルを保存するフォルダー（標準では「C:\Program Files\Creative\WebCam Monitor\Cache」）を、「エイリアス」欄に外からアクセスできないようなわかりにくい名前（例では「d04ir8」）を入力し、忘れないようにメモしておく。



4 画像が見られるウェブサイトの設定を行う。初期設定のままでもいいが、HTMLファイル名は他人に覚えられないように、たとえば「8e7djpg.htm」などパスワードになるようなランダムな英数字にし、忘れないようにメモしておく。なお、ここを設定して「OK」を押すと、③で付けたチェックは消えるがそのままでもいい。

5 ウィンドウズの「Personal Web Server」（149ページ参照）を起動して、「詳細」の「追加」をクリックする。



7 ブラウザーから、「WebCam Plus」を接続しているパソコンのIPアドレスと、⑥で設定したエイリアス、④で設定したHTMLファイル名を指定する。例では「http://210.xxx.xxx.xxx/d04ir8/8e7djpg.htm」となる。



8 撮影時間の間隔や、ウェブで一度に見られる枚数などの設定は簡単に変更できる。設定が完了したら、「WebCam Monitor」の画面①中央下部にある「スタート/ストップ」を押すと監視が開始される。

9 外からアクセスできるようにしている場合、帰宅したら設定を解除して、カメラを止めるのを忘れないように！



# 外から家の中に アクセス

おすすめの回線とスピード



512kbps ~

ISDNの64kでも使えないことはないが、カーソルの移動などが厳しい。ADSLクラスなら問題ない。

## II

家に大事なデータを忘れてもOK

# リモートターミナルで 外でも同じPC環境に

家に大事なデータを忘れてしまったときなど、外から家のパソコンを操作したいと感じる機会は意外に多い。そんなときでも、家のPCにリモートターミナルソフトをインストールしておけば、外部のPC上のブラウザから、ほとんどすべてのアプリケーションを操作できる。感動すること間違いなしの便利さだ。家族がPCの使い方で困っているときでも、リモートで同じ画面を見ながら操作方法を教えるといった用途にも使える。たとえば、必要ないと思った人でも、常時接続でつながった自宅のPCにインストールしておけば、いざというときに必ず役に立つ！

### 用意するもの



Desktop On-Call Version 4

「PC リモコン」

日本アイ・ビー・エム  
標準価格 11,800円

試用版入手先

[www-6.ibm.com/jp/pspinfo/javadesk/](http://www-6.ibm.com/jp/pspinfo/javadesk/)

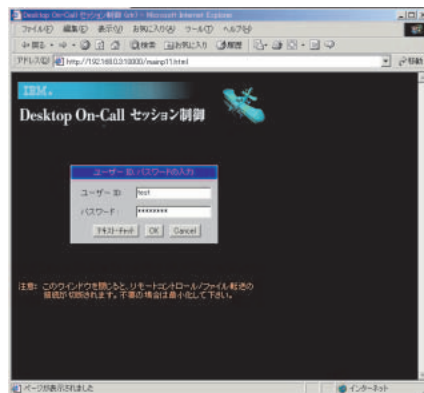
対応OS：ウィンドウズ95/98/98SE/NT4.0/2000、

OS/2 Warp4、Mac OS 8.6/9など

必要メモリー：32MB以上

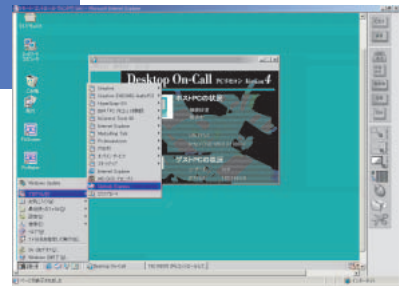
HDD空き容量：16MB以上

TCP/IPネットワークに接続していること



1 自宅のPC（サーバー側）にソフトをインストール後、クライアント側（ほかのPC）のブラウザから「http://210.xxx.xxx.xxx/」のように自宅のサーバーマシンのIPアドレスを入力すれば、ログイン画面が表示される。ここで、インストール時に設定したユーザーIDとパスワードを入力する（SSLがサポートされ、パスワードは暗号化される）。なお、ルーター越しにアクセスする場合は、「静的NAT」の設定が必要だ（144ページ、145ページの表参照）。

2 ログインすると、自宅のPCのデスクトップそのままの「リモート・コントロール・ウィンドウ」が表示される。スタートメニューなどもリモートですべて操作できる。

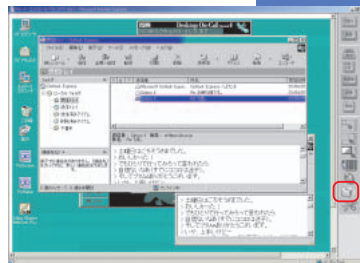


# 設定

### こんなときに便利だ!!

- 家に届いたメールをチェックする
- 家のPCとデータのやり取りをする
- 家のPCにインストールしたソフトが使える
- PCの操作方法を家族に教える
- PCを再起動・終了させる  
(すべて外出先からブラウザ経由でできる)

3 外出先から自宅のPCのメールソフトを立ち上げてメールのチェックもできる。ただし、メールの作成は、日本語が文字化けするので避けたほうがいい。



4 「リモート・コントロール・ウィンドウ」右側のフォルダーのアイコンをクリックすると「ファイル転送」画面が開き、サーバー、クライアント間でファイルのやり取りができる。

電化製品の電源を

自動でon/offする

現時点ではあまり普及していないが、インターネットを通じてほとんどすべての家庭電化製品をコントロールできる機器がすでに登場している。

アーガイルホームテック **Jump01** では、各種家電や空調などの室内環境からホームセキュリティまで一括で管理できるシステムを提供する。このシステムは工場クラスにも応用できる本格的なものだ。一般家庭に設置するには配線工事などが必要になるが、システムの中核となるコントローラーの価格が15万円、そのほかのコントローラーが1万円から3万円程度と、家の新築や改築時には十分検討に値する値段設定になっている。

また、認可が下りていないため現在日本では入手が難しいが、アメリカでは「X10 ActiveHome Kit」 **Jump02** という製品が市販されている。この製品は、コンセントに付けるタイマーのような形状をしており、パソコンとはシリアルケーブルで接続する。パソコンに制御用のソフトをインストールすれば、インターネットからパソコンを通じて家電をコントロールできる(画面)。基本セットの価格は50米ドル弱と、比較的気軽に購入できる値段設定になっている。

コンセント側から制御するため、アーガイルホームテックのシステムほど細かい制御はできないが、価格を考えれば十分実用的で、常時接続が普及してきた日本での発売が心待ちにされる。

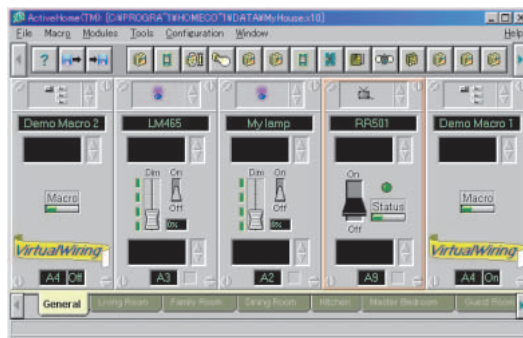
**Jump01** www.argyle.co.jp

**Jump02** www.xio.com

アーガイルホームテックの家電アダプター。家庭内での利用なら、電気コンセントを利用した有線で、電源のon/offに使えるが、インターネットとの接続には別途コントローラーが必要だ。



アメリカで市販されている「X10 Active Home Kit」の制御用ソフト画面。

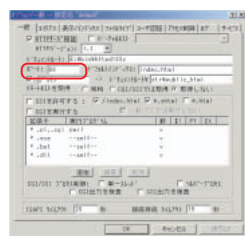


「外からアクセス」の強い味方

「Personal Web Server」を使おう

家庭の常時接続に外からアクセスする場合、必要なデータをブラウザで見られるようにしておけば便利だ。そのためには、自宅のパソコンを「ウェブサーバー」にする必要がある。

ウィンドウズ98には、標準で「Personal Web Server」という機能が用意されており、これを常時接続でつなぐPCにインストールすれば、PC内に簡易ウェブサーバーを作れる。このため、ブラウザがあれば簡単に外からアクセスできるようになる。残念ながらウィンドウズMeには含まれていないので、「AN HTTPD」 **Jump** などのフリーのウェブサーバーを使おう。また、「Personal Web Server」自体には認証システムを持っていないため、より強力にセキュリティを確保したいなら「AN HTTPD」のように、ユーザー認証やポート番号の変更もできるものを用意するほうが確実だ。

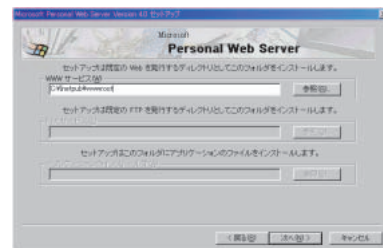
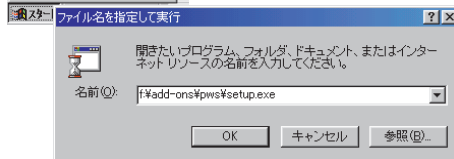


「AN HTTPD」では、ポート番号の変更やユーザー認証のユーザーIDとパスワードの設定ができる。なお、ポート番号を80以外に変更してブラウザでアクセスする場合は、たとえば8080がポート番号なら「http://210.xxx.xxx.xxx:8080」のように入力する。  
入手先

**Jump** www.st.rim.or.jp/~nakata/

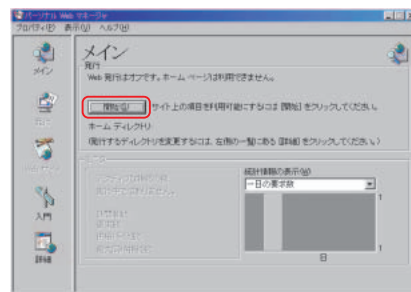


**1** CD-ROMドライブにウィンドウズ98のCD-ROMを挿入し、「スタート」メニューの「ファイル名を指定して実行」で、「f:¥add-ons¥pws¥setup.exe」と入力する。なお、CD-ROMドライブ名「f:」は自分のPCに合わせて適宜書き換えること。



**2** ブラウザーを使ってアクセスしたときに標準で表示するディレクトリー(ブラウザ)を設定する。

**3** 「Personal Web Server」を起動して、メイン画面の「開始」を押す。ブラウザを立ち上げてURL入力欄に「Personal Web Server」をインストールしたPCのIPアドレスを入力する(例: http://210.xxx.xxx.xxx/)。インストール終了の画面が出たらOKだ。



# 外から家の中に アクセス

おすすめの回線とスピード



64 kbps ~

録画情報のデータサイズは小さいので、常時接続さえ実現していれば速度は気にしなくてもいい。



「あっ、忘れた!」にも安心

# TV録画も外で設定

こんなときに便利だ!!

- ・ 見たいテレビ番組を録画するのを忘れた
- ・ 友人や同僚に急に録画を頼まれた
- ・ 気になるニュースを録画したい

## 用意するもの



### USB-MPG2TV

アイ・オー・データ機器  
標準価格：34,800円

Jump [www.iodata.co.jp/feature/video/usbmpg2/](http://www.iodata.co.jp/feature/video/usbmpg2/)

対応OS：ウィンドウズMe/98 (Second Edition含む)  
CPU：Intel Celeron 366MHz以上、Pentium II 350MHz以上、Pentium III、AMD Athlon、Duron

必要メモリー：64MB以上

HDD空き容量：500MB以上 (録画保存には別途標準画質で1分につき約32MB必要)

USBポートが必要

# 設置

ここでは、USBを使って簡単に接続できるアイ・オー・データ機器の「USB-MPG2TV」を例に設定方法を解説する。iモードのメニューリストにあるTV番組ガイド「iテレビ」と連動して、外出先からリモートで録画を予約できる機能があるので、見たい番組を見逃さずに済む優れたものだ。また、ハードディスクに録画するので、ビデオテープのように画像が劣化しないし、ビデオの編集も付属のソフトでラクにできる。ハードディスクも最近では40GBバイトで15,000円を切る商品も複数あり、購入しやすくなっている。ハードディスクを使ったビデオ録画機能を気軽に楽しもう。

PC本体とはUSBで接続する。そのほかに、ACアダプター、テレビアンテナ、ビデオデッキなどの映像機器と接続する必要がある。たいていはビデオデッキにアンテナがつながっているので、その場合はUSB-MPG2TVとビデオデッキの間をアンテナケーブルでつなごう。



## AV機能満載のPCで録画予約

SOTECのAFINA Styleなど、テレビの録画機能を持つパソコンが各社から販売されているが、常時接続環境と、IBMの「Desktop On-Call」などのリモートターミナルソフトを利用すれば、インターネット経由で録画予約ができる。

148ページで紹介したようにDesktop On-Callにログインしたら、あとはリモートのデスクトップから「Tideo TV」(AFINAの場合)を起動して、録画予約をすればいい。

実際に試したところ、日本語の入力がうまくいかなかったので、タイトルなどは半角英数字で入力せざるをえない点と、ネットワークの混雑状況によってはカーソルの動きが重くなるなど、通常操作に比べて操作感は落ちるが、万が一のときには十分使える。すでにテレビの録画機能のあるパソコンを持っているのであれば、ぜひ試してみるといいだろう。



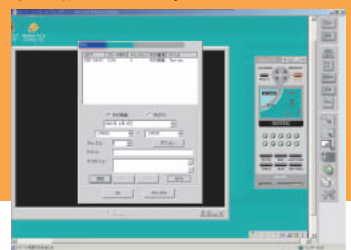
### SOTEC AFINA Style

標準価格：138,000円

Jump [www.sotec.co.jp](http://www.sotec.co.jp)

コンパクトながら、テレビの録画再生やデジタルビデオ編集など、豊富なAV機能を持つPCだ。

Desktop On-Callを使って、Tideo TVを操作している。プルダウンメニューの操作が64 kbps回線では厳しいものがある。



### SmartVisionPro for USB

NEC

標準価格：39,800円

Jump [izware.com](http://izware.com)

対応OS：ウィンドウズMe/98 (Second Edition含む) /2000

CPU：Intel Pentium (R) II 350MHz以上、Celeron 366MHz以上、AMD Athlon 500MHz以上、AMD Duron 600MHz以上、Mobile Pentium (R) II 400MHz以上、Mobile Celeron™ 400MHz以上

必要メモリー：64MB以上 (128MB以上推奨)

HDD空き容量：5GB以上推奨 (録画1時間あたり最大で約2.8GBのHDD空き容量が必要)

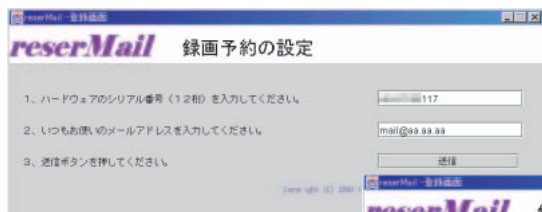
USBポートが必要

「SmartVision TV録画予約サービス」を使えば、iモードや外出先のパソコンからの録画予約ができる。ただし、「BIGLOBE」の会員(「るんるん」コース、法人会員以外)になる必要がある。

Jump [wakeup.cplaza.ne.jp/wapi/info/](http://wakeup.cplaza.ne.jp/wapi/info/)

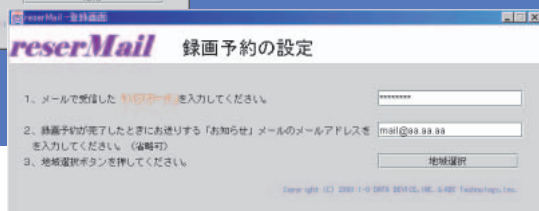


# 設定



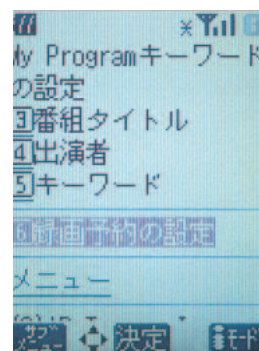
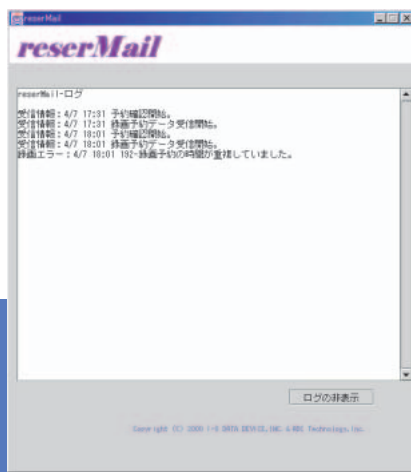
1 「USB-MPG2TV」のセットアップが終わったら、付属ソフトの「reserMail」をインストールする。初めて立ち上げると、このような登録ウィンドウが表示されるので、ハードウェアのシリアル番号とメールアドレスを入力し、登録を行う。

2 登録が完了すると、パスワードがメールで送られてくる。そのパスワードと予約に関するお知らせ用のメールアドレス（iモードや会社のマシン用など）を入力する。



3 住んでいる地域などの設定画面になるので、内容を確認して「設定」を押す。なお、録画予約を確認する時間の間隔は最短の30分にしておく安心だ。

4 OS立ち上げ時に「reserMail」が起動して、予約が可能な状態になると、下のような小ウィンドウが表示される。「ログ」をクリックすると予約状況が確認できる。なお、予約情報はメールでも送信されるし、予約時間の重複などのエラーが発生した際にも知らせてくれる。すべてID番号とパスワードで管理されるので、セキュリティーは万全だ。



5 iモードから予約する場合は、メニューリストの「エンターテインメントTV/FM iテレビ」にアクセスする。なお、製品のシリアル番号とパスワードが必要になる。

## ビデオデッキやミニコンポ、エアコン すべて外から設定しよう

PCに接続できる汎用リモコン「クロッサム2Plus」と「KMEMO Tool Ver 0.3B」というフリーソフトウェアを使えば、iモードから常時接続環境の家庭にあるビデオデッキへの録画予約や、リモコンで制御できる各種家電のコントロールが可能になる。なお、実際に「クロッサム2Plus」をPCからコントロールするためには、「KMEMO Tool Ver 0.3B」に加えて、「AVマネージャー」と「クロッサムコントロール」という2つのソフト（無料）が必要だ。設定がやや面倒だが、チャレンジする価値はある。

### 用意するもの

クロッサム2Plus（写真）

[www.halcorp.co.jp/hard/crossam/](http://www.halcorp.co.jp/hard/crossam/)

主要メーカーのビデオの信号はプリセットされているので、そのままでも利用できる。そのほかのエアコンなどの機器は、本体に信号を覚えさせる作業が必要になる。なお、家電のリモコン同様に操作したい機器にリモコン本体を向けないと機能しないので、外出前にはリモコンをビデオに向けておこう。さらに、リモコンがうまく働いたかどうかを確認するのが難しいので、146ページで紹介したウェブカメラを併用するのもいいだろう。

KMEMO Tool Ver 0.3B

入手先 [www.asahi-net.or.jp/~tzas-nsmr/](http://www.asahi-net.or.jp/~tzas-nsmr/)

AVマネージャー

入手先 [www.zs.biglobe.ne.jp/~avm/](http://www.zs.biglobe.ne.jp/~avm/)

クロッサム・コントロール

入手先 [member.nifty.ne.jp/Yamaguchi/crocon/](http://member.nifty.ne.jp/Yamaguchi/crocon/)



クロッサム2PlusとPCは、オプションで販売されているシリアルケーブルで接続する。

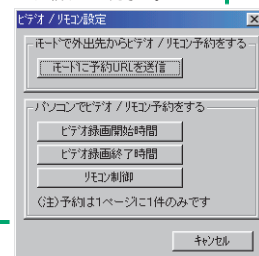


# 設定

1 「KMEMO Tool」のインストールが終わったら、メイン画面で「ビデオリモコン予約」をクリックする。



2 「iモードに予約URLを送信」を押すと、予約管理用のURLがメールで送られてくるので、そこにアクセスする。設定画面が表示され、該当項目を押すと確認用のメールが届き、予約内容を記述して返信すれば完了だ。



# 外出先から アクセス

自宅に届くFAXをオフィスや外出先からチェックできれば便利だ。ここでは、ブラウザを使って自宅のFAXを確認するテクニックを紹介しよう。FAXソフトを使えば、FAXの内容を外から見られるだけでなく、ログをデータで管理できるメリットもある。FAXソフトと「Personal Web Server」(149ページ参照)を組み合わせるだけで簡単に利用できるのだ!

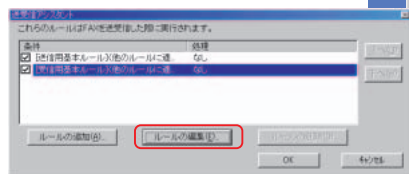
## 用意するもの



EasyFax PRO 2001EX  
 エー・アイ・ソフト  
 標準価格：29,800円  
[www.aisoft.co.jp/easyfax/](http://www.aisoft.co.jp/easyfax/)  
 対応OS：ウィンドウズMe/2000/98/95/NT4.0  
 必要メモリー：32MB以上  
 HDD空き容量：30MB以上

## こんなときに便利だ!!

- ・自宅に重要なFAXが届いたらすぐに確認したい
- ・FAXデータを紙じゃなくてパソコンで保存したい
- ・FAXの受信ログを整理したい



3 「EasyFax PRO 2001EX」をインストールする。起動後、「設定」メニューの「送受信アシスタント」を選択し、「受信用基本ルール」を編集して「配信ログに登録」にチェックを付ける。



着信が一目でわかる

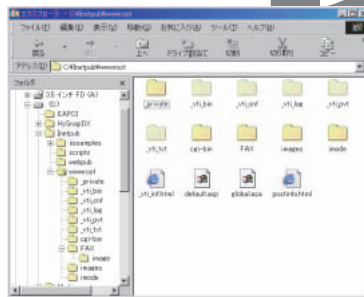
# FAXと電話を ウェブで管理

FAXソフトは、自宅に届いたFAXをパソコンで受信してデジタル画像で保存するソフトだ。この保存した画像を外部から見られれば、急用も見落とさずに済む。ここでは、パソコンのブラウザとiモードを使って自宅に届いたFAX

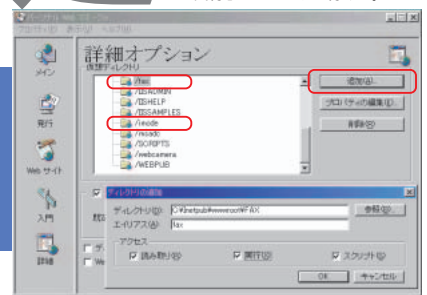
を見るための設定を解説する。受信したFAXデータが保存されているフォルダーをウェブにアップするのがそのカラクリだが、今回紹介する「EasyFaxPRO2001EX」には、その機能が標準で搭載されている。

## 設定

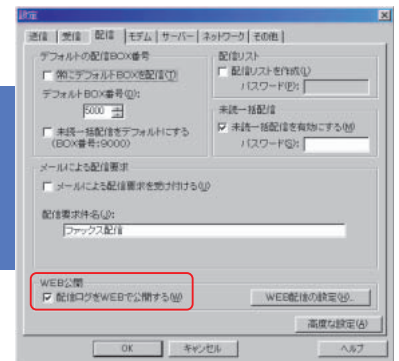
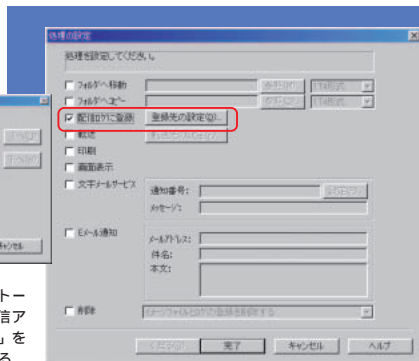
2 ウェブおよびiモードでの閲覧用ディレクトリーは、「Personal Web Server」(149ページ参照)の詳細オプションの「仮想ディレクトリー」に追加する。なお、この際に「読み取り」と「実行」にチェックを付ける。



1 自宅のパソコン上に、届いたFAXを保存するディレクトリーをあらかじめ作成しておく。  
 <例>  
 C:\inetpub\wwwroot\fax : ウェブでの閲覧用  
 C:\inetpub\wwwroot\imode : iモードでの閲覧用  
 C:\inetpub\wwwroot\fax\image : FAXイメージ出力先



<エイリアス名称の例>  
 fax : ウェブでの閲覧用  
 imode : iモードでの閲覧用



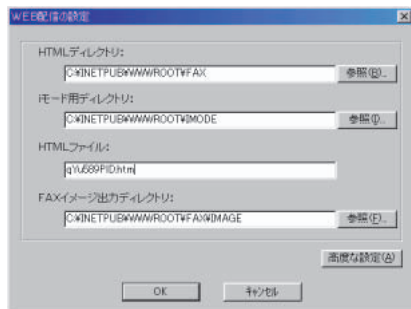
4 「設定」メニューの「全般の設定」を選択し、「配信」タブをクリックして、「配信ログをWEBで公開する」にチェックを付ける。

おすすめの回線とスピード

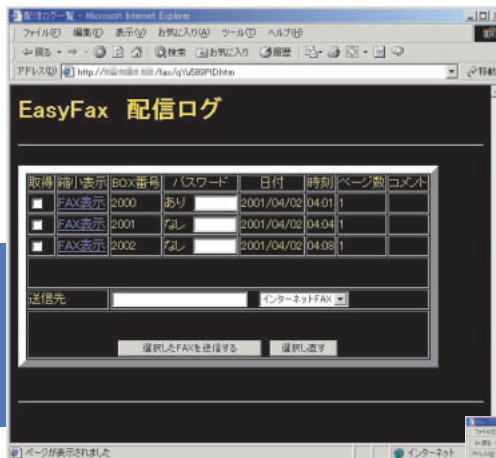
フレッツ ISDN	ADSL	CATV	光
-----------	------	------	---

64 kbps ~

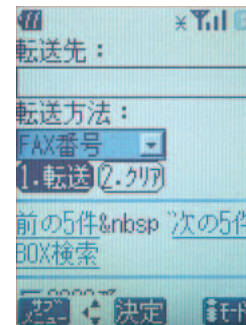
64kだとFAXの内容表示にやや待たされるが、それほど気にならない。留守番電話の確認も問題ない。



5 受信したFAXデータを外部から見るために、1で作成したディレクトリをそれぞれ指定する。なお、「HTMLファイル」は初期値のままでもOKだが、わかりにくい名前にしておくほうがいい。ただし、忘れないように注意しよう。



6 インターネットにつながったほかのパソコンのブラウザから、自宅にあるパソコンのIPアドレスと「Personal Web Server」で設定したエイリアス、HTMLファイル名を指定する(例では「http://210.xxx.xxx.xxx/fax/qYu589PID.htm」)。FAXの配信ログが表示され、「FAX表示」をクリックすれば、自宅に届いたFAXの内容を見られる。なお、FAXの確認にはパスワード制限をかけられるので安心だ。



iモードでFAXの内容までは表示できないが、転送先を指定すれば家に届いたFAXを外でも受け取れる。



## 自宅の電話をPCで受けて 留守電をウェブでチェックしよう

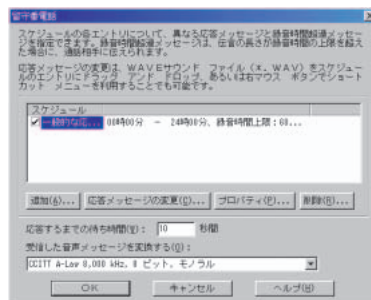
不在時のFAXチェック(152ページ)のように、留守電のメッセージもウェブで管理できる機能を紹介しよう。TAやダイヤルアップルーターでFAXを受信できる「RVS-COM 2000」を使えば簡単だ。ただし、「Personal Web Server」(149ページ参照)のようなサーバソフトが必要なので、あらかじめ自宅のパソコンにインストールしておこう。音質もまずまずなので、問題なく利用できる。

### 用意するもの

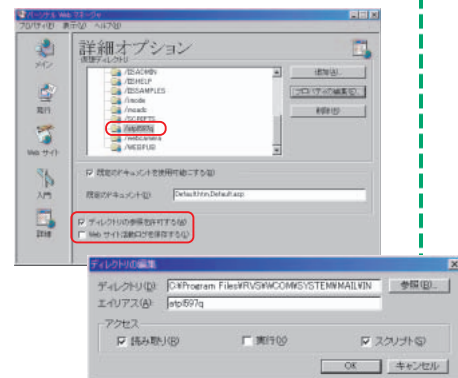


RVS-COM 2000  
メガソフト  
標準価格：19,800円  
Jump [www.megasoft.co.jp/products/rvs2000/](http://www.megasoft.co.jp/products/rvs2000/)  
対応OS：ウィンドウズMe/98/95/NT4.0  
必要メモリ：32MB以上(ウィンドウズNT4.0は48MB以上)  
HDD空き容量：40MB以上  
上記ウェブサイトに掲載されているRVS-COM対応のルーターまたはTAを使って電話を受けている場合のみ利用できる

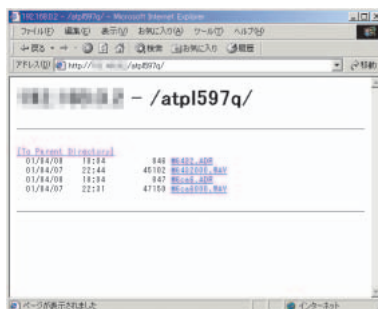
1 マニュアルの指示どおりにインストールすれば自動的に留守番電話機能が働く。応答メッセージもあらかじめ用意されているが、変更したい場合は、電話番号ごとのプロパティで変更できる。留守番電話にしている時間帯なども設定できる。



2 「Personal Web Server」の「詳細オプション」で、メッセージ保存用のディレクトリに、不正にアクセスされないようにわかりにくい名前を付けたエイリアスを設定する。標準状態でインストールした場合は「c:\Program Files \RVS\YWC\M\SYSTEM\MAIL\IN」というディレクトリにメッセージが保存されている。今回の例では、そこに「atp1597q」というエイリアスを設定した。このエイリアスは忘れないように必ずメモをして保管しよう。なお、「ディレクトリの参照を許可する」にチェックを入れておくこと。



## 設定



3 ブラウザーを使って、自宅PCの(グローバル)IPアドレス内にある2で指定したエイリアスにアクセスする(例では「http://210.xxx.xxx.xxx/atp1597q/」)。すると、ファイルの一覧が表示されるので、拡張子がWAVのファイルをダブルクリックすれば、ウィンドウズメディアプレーヤーが立ち上がってメッセージを再生してくれる。今回のテストでは、ISDN 64kbpsの常時接続環境でも特にストレスなくメッセージを再生できた。



# 家庭で便利に使う

おすすめの回線とスピード

ADSL CATV 光

128 kbps ~

多少音質が悪く、かつ1人しか視聴者がいないのならばフレッツ・ISDNでも利用できる。



世界に向けて発信する

# インターネットラジオ局に挑戦

フレッツ・ISDNを除く常時接続環境は比較的回線速度が高速なものが多く、インターネットラジオなどストリーミング放送の発信回線としても最適だ。ストリーミング放送という何やら難しい気もするが、実は、パソコンが1台あれば誰にでも始められる。インターネットでどんなものを配信するか。あとは、あなたのセンス次第だ。

## 用意するもの

### SHOUTcast

入手先 [www.shoutcast.com](http://www.shoutcast.com)

### Winamp

入手先 [www.winamp.com](http://www.winamp.com)

インターネットでラジオを放送しているサイトはたくさんある。それらのラジオ放送を聴くのもいいが、せっかくの常時接続環境なのだから、自分でインターネットラジオ局を運営してみるのはどうだろうか。そんな人におすすめなのが

## こんなときに便利だ!!

- ・ 音声や音楽などの情報を発信したい
- ・ 自分で配信している音楽を外でも聴きたい
- ・ DJ気分を味わいたい

がNullsoft社の「SHOUTcast」だ。

SHOUTcastはMP3の音楽をストリーム配信する機能を持ち、パソコンに「SHOUTcast Server」というソフトをインストールするだけで手軽にインターネットラジオ局を作れる。

さらに、同ページにある「SHOUTcast DSP Broadcasting Tools」をインストールすると、マイクからの音声とのミキシングもできる。

SHOUTcastで配信したデータを「Winamp」を使って聴くのもお手軽だ。

## SHOUTcast Serverの設定

SHOUTcast Serverはテキストエディターで設定するのでやや難しい。しかしほとんどの設定項目はそのままでも動くので、最低限「Password」だけを変更しておけばいい。

# 設定

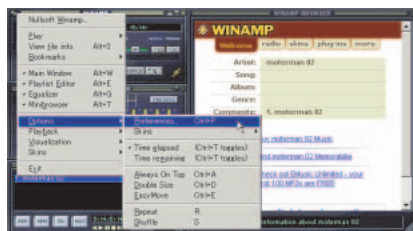
1 「Edit config」メニューを選択する。

4 「Plug-ins」の「DSP/Effect」にある「SHOUTcast Source for Winamp」を選択し、「Configure」を押す。

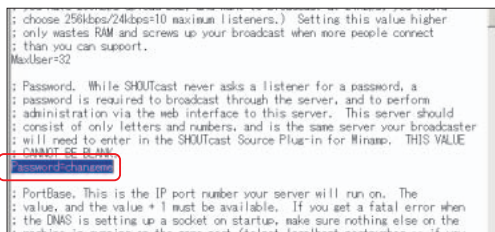
## インターネットへの配信準備

設定を終え、SHOUTcast Serverを再起動したら、次にWinampを設定しよう。これにより、SHOUTcast Serverからの配信ができるようになる。

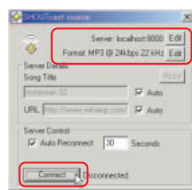
3 Winampを起動し、「Options」メニューから「Preferences」を選択する。



6 「Password」Aには、2で設定したパスワードを入力する。www.shoutcast.comに自分の放送局の情報を登録したくなければ、Bのチェックを外す。  
Cには、自分のインターネット放送局の情報を入れる。この情報は放送中にwww.shoutcast.comに登録され、公開される。「Description」には放送局の説明を、「Genre」にはジャンル（POPとかJAZZとか）を入れておけばいい。「URL」の項目には「http://自分のパソコンのIPアドレス:8000/」と入力しておく。

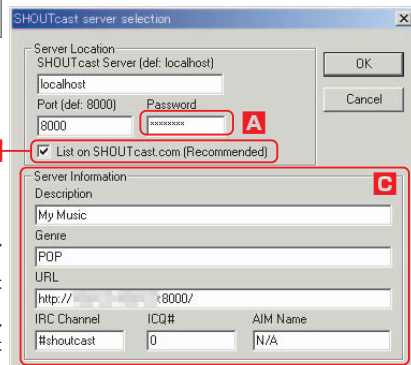


2 テキストエディターが起動するので、「Password」とある行の「=」より右側の部分を自分の好きなパスワードに変更して保存して閉じる。設定は即座には反映されないのので、1の画面で「Kill server」メニューを選択して、一度SHOUTcast Serverを終了させてから、再び起動させる。



5 「Server」の横にある「Edit」を押してサーバーの設定をする。またこのとき「Format」の横にある「Edit」を押すと、音質（圧縮率）の設定もできる。

7 サーバーや音質の設定が終わったら、5の画面で「Connect」を押せば準備OKだ。



## インターネットラジオの 放送開始

SHOUTcast Serverを起動し、Winampの設定が終わったら、放送したいMP3ファイルや音楽CDなどをWinampで再生しよう。すると、その曲がインターネットで配信される。このとき注意したいのが著作権の問題だ。欄外に説明しているので、正しく理解しておこう。



配信はWinampで再生するだけで。

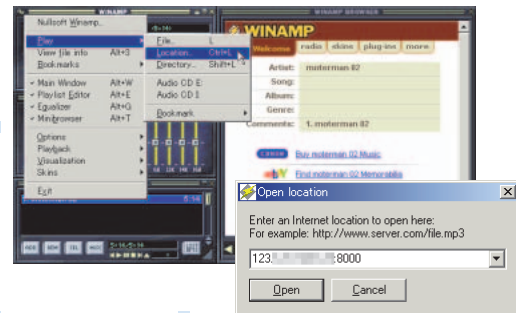
## 配信されている音楽を聴く

SHOUTcast Serverで配信を始めると、その情報が、www.shoutcast.comで公開される。ユーザーはこの公開リストの中から聴きたい音楽をクリックすればいい。



SHOUTcastのホームページには放送局がずらりと並び、この中には、自分が開設したインターネット放送局ももちろん含まれている。このページでは分野別に検索できるから、自分の放送局があるかどうか検索してみるといいだろう。左側の「Tune In!」を押すと、Winampが起動し、放送を聴くことができる。

www.shoutcast.comを通さず、直接配信先のインターネットラジオに接続したいのであれば、Winampで「Play」メニューから「Location」を選択し、「http://パソコンのIPアドレス:8000/」と入力すればいい。



友人間だけのラジオ局やインターネット内でSHOUTcastを使うときには、SHOUTcastのウェブサイトを経由せず、直接配信しているパソコンのIPアドレスを入力する。

## 音楽の配信と著作権

SHOUTcastを使えば、簡単に音楽が配信できることは先に述べたが、なんでも配信できるわけではなく、ここにも音楽著作権の問題が付いてまわる。自作の楽曲を配信するなら問題ないが、市販のCDをエンコードしてサーバーに上げることは、原則として禁止されている。それでも、放送局として運営していくために好きな楽曲をBGMで流したいというなら、**社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）に届け出が必要だ**。インターネットのストリーミング放送で楽曲を利用する場合の使用料規定が、2000年12月18日から正式に運用されている。また、個人ホームページでの音楽の利用についても、2001年7月から施行される（それまでは原則として使用不可）。

ストリーミングで音楽を流す場合、まずCDなどの音源を配信に適したファイルフォーマットに変換する必要がある。ここで複製権が生じる。友人から借りたCDをMDにコピーして楽しむぶんには「私的利用」ということで問題ないが、インターネットという不特定多数の人が聞く機会が生じる場合はそういう訳にはいかない。また、実際にインターネットに配信する際に公衆送信権が働くことになる。それらの権利を承認するうえでも、規定の著作物使用料を支払わなければならない。

JASRACが発行する「著作物使用料規定」の第13節「インタラクティブ配信」では、音楽のダウンロード形式とストリーム形式で料金規定が異なり、今回問題となるストリーム形式については下表のように定めている。届け出の詳細と申し込み用紙はJASRACのウェブサイトに載っているため、そちらを参考にしてほしい。

### インタラクティブ配信における著作物使用料＜ストリーム形式＞

情報料および広告料などの収入がない場合の使用料は、利用曲数にかかわらず次に定める額になる

① 営利目的の法人の場合	1番組当たり 年額50,000円	送信可能化する日数が1年に満たない場合は、利用曲数にかかわらず月額5,000円にあらかじめ定める利用月数を乗じて得た額とすることができる。
② 営利を目的としない法人などが、営利を目的とせず利用する場合	年額30,000円	送信可能化する日数が1年に満たない場合は、利用曲数にかかわらず月額3,000円にあらかじめ定める利用月数を乗じて得た額とすることができる。
③ 個人が営利を目的とせず利用する場合	(ア) 送信可能化する曲数にかかわらず、 年額10,000円	送信可能化する日数が1年に満たない場合は、月額1,000円にあらかじめ定める利用月数を乗じて得た額とすることができる。
	(イ) 1曲につき年額1,200円に同時に送信可能化する曲数を乗じた額	送信可能化する日数が1年に満たない場合は、1曲につき月額150円に同時に送信可能化する曲数およびあらかじめ定める利用月数を乗じて得た額とすることができる。

詳細はJASRACのウェブサイトを確認ください

Jump [www.jasrac.or.jp](http://www.jasrac.or.jp)





64 kbps ~

音質をよくしたければ混雑のない常時接続環境を推奨。ルーターの場合、静的NATがやや複雑なので注意。

# 家庭で便利に使う

# II

## 通話料を安くする

# インターネット電話の活用

## こんなときに便利だ!!

- ・ 家族と同じ電話を使っているのに、長電話できない
- ・ 自分の部屋にパソコンはあるが電話はない
- ・ できるだけ安く電話をかけたい

常時接続の環境でインターネット電話を使えば、電話回線のように請求書を見て通話料にびっくり! ということがなくなるのだ。インターネット電話には、パソコン同士で通話するものだけでなく、パソコンから一般回線の電話にかけられるものもある。なかには無料のサービスもあるので、タダで電話をかけることすらできるのだ。なお、194ページには、インターネット電話の特集もあるので、そちらも併せて見ればより便利に使えるだろう。

## 用意するもの

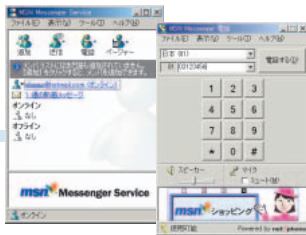
### ただTEL



入手先 [www.tadatel.co.jp](http://www.tadatel.co.jp)

インターネットから一般回線の電話や携帯電話、さらには国際電話も無料で電話をかけられるサービス。広告を見たりインターネットショッピングをしたりすることで貯める「tel」ポイントで通話時間が決まる。

### MSN Messenger Service



入手先 [messenger.msn.co.jp](http://messenger.msn.co.jp)

基本機能はメッセージの送受信だが、音声通話もできる。また、パソコン同士だけでなく、パソコンから一般回線の電話にも電話をかけられる。ただし、無料で通話できるのは米国内だけで、日本国内にかけられるには、Net2Phoneに登録し、通話料を払わなければならない。「ツール」メニューの「オプション」を選び、「電話」タブで「Net2Phoneへ」ボタンを押して指示に従うといい。

### BitArena

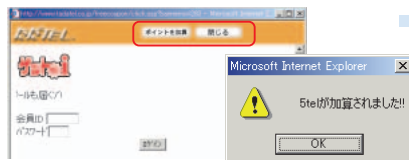


入手先 [www.bitarena.com](http://www.bitarena.com)

パソコン同士で音声通話ができるソフト。会員登録をすると電話番号のような「コールサイン」をもらえ、相手呼び出せる。ログインしている人の中から選んで不特定の人と話すこともできる。

ここでは、「ただTEL」を例に説明する。ただTELとは、「tel」というポイントを貯めることで、一般回線の電話や携帯電話などにパソコンから無料で電話をかけられるサービスだ。telポイントは、スポンサーの広告を見るなどす

1 「ただTEL」のホームページにアクセスし、「新規加入」を押して会員登録をする。名前や住所などの自分の個人情報を入力するだけで、誰でも会員になれる。



3 Visitタイプの広告をクリックし、しばらくすると、広告の上に「ポイントを加算」というボタンが現れるので、そのボタンを押すとポイントが加算される。

4 電話のかけ方はとても簡単。相手先の電話番号を入力し、「Call」を押すだけ。ActiveXコントロールを使っているため、セキュリティ警告が出るが、「はい」を押して処理を続ける。電話帳機能も付いているので、よくかける相手先は電話帳に登録しておくといいだろう。



れば貯められ、20telで1分間、一般回線へ電話をかけられる。

将来的には、メールによる広告配信でのtelポイント加算や、プリペイドカードによるtelポイントの購入も計画されている。

# 設定

2 会員登録したら、telポイントを貯めよう。telポイント貯めるには、広告の一覧から見たい広告をクリックする。広告には「Visitタイプ」と「Joinタイプ」の2つがある。前者はバナーをクリックで取得できるtelポイント、後者はそのサイトで品物を購入したりサービスに加入したりすると得られるtelポイントだ。

## 便利なハンドセット

ただTELでは、より便利にインターネット電話を使うために受話器型のハンドセットを販売している。これを使えば普通の電話と違和感なく利用できる。USBオーディオデバイスとして認識され、ウィンドウズ98やウィンドウズ2000標準のデバイスドライバーで動くので、電話をかけるときに差し込むだけですぐに使える。価格は10,000円で、ウェブサイトから購入できる。なお、購入すると100telポイントがプレゼントされる。





# 家庭で便利に使う

大公開!  
常時接続活用の  
未体験ゾーン



おすすめの回線とスピード



64kbps ~

メッセージのやり取りだけなのでISDNでも十分だ。不便だが、ダイヤルアップ環境でもとりあえず動く。

自動受信だけじゃない

# 新時代のコミュニケーション ツールが楽しい

こんなときに便利だ!!

- PostPet以上に遊べるソフトを待っていた
- 友達と簡単にチャットしたい
- 不特定多数の人とメル友になりたい

PostPetで一世を風靡したSo-netから新しいソフトが登場した。その名も「SHEEPDOG」。自分が牧場主となって、1匹のシーブドッグ(犬)と6匹のヒツジを飼うというメッセージソフトだ。友人にメッセージを届けたり手紙を渡したりといったことができるのはPostPetと同じ。メッセージや手紙をシーブドッグに渡すと、シーブドッグが友人の家まで出かけて届けられる。もちろんこのとき、シーブドッグ同士での会話など楽しいアニメーション要素があるほか、「芸」を見せてくれることもある。

PostPetとSHEEPDOGとの大きな違いは、メッセージのリアルタイム性だ。SHEEPDOGはメールソフトではなく、常時接続環境を意識したリアルタイムなメッセージのやり取りが中心だ。友達同士でチャットするほか、ヒツジを誰かの牧場に送り出して、不特定多数の人とシーブドッグを通じて友達を作れるようになっている。発売は6月の予定だ。

## 用意するもの



収録先【CD-ROM】  
Win Sheepdog

### SHEEPDOG

www.so-net.ne.jp/sheepdog/

So-netのコンテンツサービスとして提供されるので、So-netの接続サービス会員であるか、So-netの「こんでんつコース」の会員になる必要がある。

3 ヒツジを放牧するサーバーを選択する。同じサーバーに放牧している人たちとだけチャットしたりメッセージを送ったり、ヒツジを冒険させたりできる。放牧先のサーバーは、あとで変更できる。

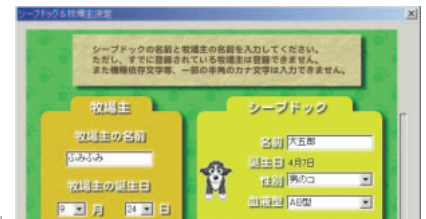


## 設定

1 ウィザードに従ってインストールする。起動したら、自分が利用するシーブドッグのキャラクターを1つ選ぶ。「ポーター・コリー」「コーギー」「クマ犬」「ダルメシアン」の4種類から選べる。



4 街に繰り出せば、エサやおもちゃ、ブラシやシャンプーなどを購入できる。



2 シーブドッグやヒツジには、それぞれ名前を付けられる。

5 放牧風景。マウスでドラッグすると、犬笛を吹いたことになり、ヒツジを追いかけ回すことができる。もちろん、なでたりエサをやったりもできる。ヒツジは成長すると毛が伸びるので、毛を刈ってやるのも重要な仕事だ。



6 「冒険」を押せば、ヒツジが誰かの牧場をご訪問! 見知らぬ人との出会いが待っている!!

# 家庭で便利に使う

# IV

常時接続でメリット倍増

おすすめの回線とスピード



64 kbps ~

大きなファイルをダウンロードするならば、やや高速な回線が欲しいかも。

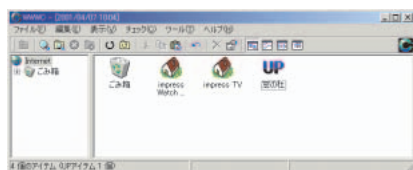
よく見に行くページはだいたい決まってしまうもの。でも、訪れたはいいが、何も更新されていないのがっかりした経験のある人も多いだろう。そんなときにホームページ巡回ソフトを使えば、1つ1つホームページを回らなくても、その更新情報を知ることができる。もともとダイヤルアップ環境でも便利に使えるツールだが、常時接続だとさらに威力を発揮する。というのも、よく見るサイトももちろんだが、ニュースサイトを登録しておけば、最新のニュースもリアルタイムに把握できる。また、ソフトを紹介するサイトを巡回の対象にしておけば、ソフトのバージョンアップを見逃すこともない。巡回ツールは意外に用途が多いので、インストールしておくといいだらう。

# すぐに活躍するホームページ巡回ソフト

こんなときに便利だ!!

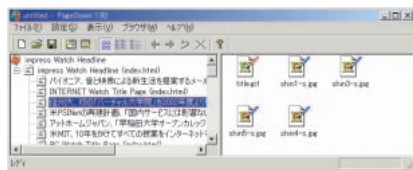
- ・よく見るサイトの更新状況を常にチェックしたい
- ・最新ニュースを押さえておきたい
- ・ソフトの更新を知って新しいバージョンを早く使いたい
- ・新たに発見されたウイルス情報を知りたい

## 用意するもの



**WWWCC**  
(フリーソフトウェア)  
作者：中島智秋  
収録先【CD-ROM】 Win Wwcc

指定したホームページの更新情報をチェックするソフト。プラグインも多数開発されていて、さまざまな機能を拡張できる。



**PageDown** (フリーソフトウェア)

作者：吉阪豊  
入手先

www.oi-u-page.so-net.ne.jp/faz/y\_yutaka/

指定したホームページを巡回し、自動的にダウンロードする。FTPに対応しているので、ソフトのダウンロードにも便利。

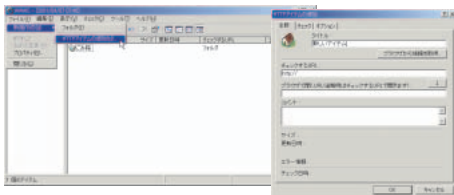


**インターネット Ninja 2001**  
アイフォ  
標準価格：9,800円  
試用版入手先  
www.ifour.co.jp  
ストリーミング放送のリアルタイム録画にも対応した。フィルタリング機能を持ち、必要な情報だけ手元にダウンロードすることもできる。

## 設定

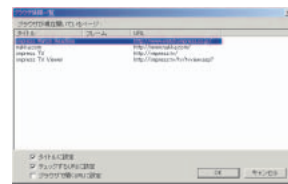
ここでは本誌の付録CD-ROMにも収録している「WWWCC」の使い方を説明する。設定は簡単なので、まずは試してみよう。

### チェックしたいウェブサイトの登録

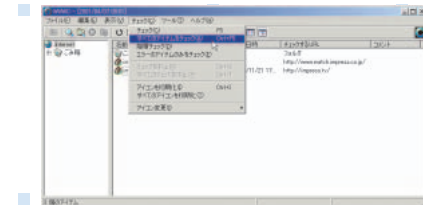


1 WWWCをインストールして立ち上げたら、まずは巡回したいウェブサイトを登録する。「新規作成」メニューから「HTTPアイテムの追加」を選ぶと、サイトのURLを入力できる。

2 「ブラウザから情報を取得」を押すと、いまブラウザで開いているウェブサイトの中から巡回するサイトを選択できる。1と2の作業を繰り返し、巡回チェックをしたいウェブサイトすべてを登録しておく。ちなみにURLは階層化して管理することもできる。

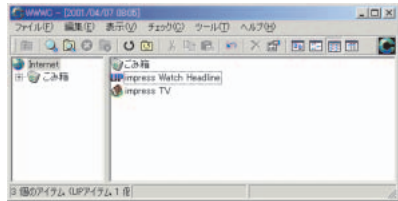


### 手動での巡回操作

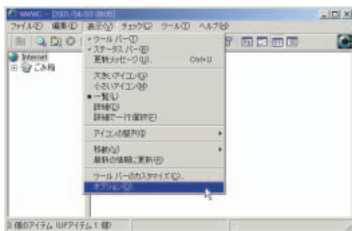


1 「チェック」メニューから「すべてのアイテムをチェック」を選択する。すると、更新情報が表示される。

2 ウェブサイトが更新された場合、音とともに「UP」というアイコンが表示される。ダブルクリックすれば、そのサイトをブラウザで参照できる。

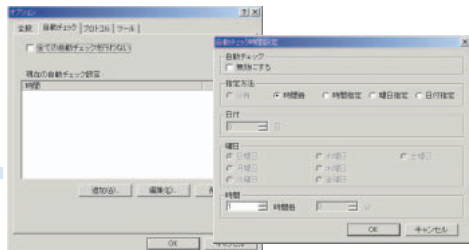


### 自動巡回の設定



1 「表示」メニューから「オプション」を選択する。

2 「自動チェック」タブで、どのぐらいの間隔でウェブサイトを巡回するのかを設定する。常時接続環境ならば、1時間ごとぐらいに設定しておくといいだらう。



## 入札のタイミングを逃さず オークションに勝とう

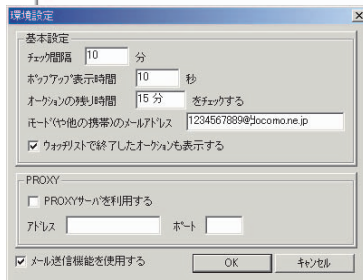
インターネットオークションはちょっと目を離したときに他人に落札されてしまうこともしばしば、そんなときに使いたいの、オークションの残り時間と現在の落札価格を自動的に取得するツールだ。ここで紹介する「オークションTool」はYahoo! オークションのウォッチリスト（自分が気になる商品のリスト）を自動的に取得し、値段に変更があったときや残り時間が指定した時間以下になったときに知らせてくれる。常時接続なら、すぐにその変化がわかるので、オークション利用者には強い味方だ。

### 用意するもの

#### オークションTool Ver 0.1D (評価版)

作者：西村誠一  
入手先  
www.asahi-net.or.jp/~tz2s-nsmr/

インストールしてできたステータスバーにあるアイコンを右クリックする。「環境設定」で、チェック間隔を変えられる。価格が変更されたときにメールを送信する機能もあるので、携帯電話などのメールアドレスを設定しておこう。



# 設定

オークションToolの使い方はとっても簡単。インストールするとステータスバーに登録されるので、Yahoo! オークションのウォッチリストを表示した状態でアイコンをダブルクリックして起動するだけだ。自分が登録したウォッチリストが直接反映される。

## いつでもつながる 「オンライン」を常にアピールしよう

インスタントメッセージソフトを使うと、自分がどのような状態であるのかをいつも示したり、メッセージを送信したり、ファイルを送受信したりできる。

また、友人など特定の人だけをやり取りする相手として登録するほか、全世界の人を検索し、見知らぬ人とチャットすることもできる。

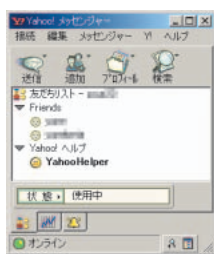
せつかくの常時接続環境だから、オンラインメッセージソフトを使って常に連絡を取れる状況にしておくのは親切だ。

### 用意するもの

ICQ  
入手先  
www.icq.com  
全世界で使われているメッセージソフト。日本語化パッチとともにインストールしないと日本語でのメッセージのやり取りができないので注意。  
日本語化パッチ  
pockets.to/icq/

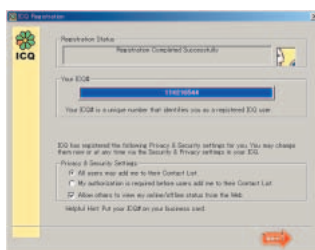
Yahoo! Messenger  
入手先  
messenger.yahoo.co.jp

Yahoo! が提供するメッセージングソフト。登録した株値の一覧を見る機能も付いている。

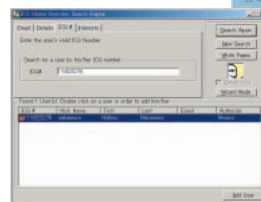
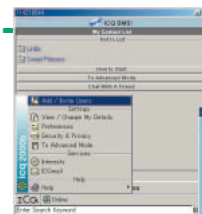


# 設定

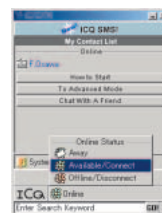
## ICQによる自分の状態の通知



1 インスタントメッセージソフトを使うときには、まず、会員登録が必要だ。会員登録をすると、自分にユーザーIDが割り当てられる。ICQの場合には、「ICQナンバー」という8ケタの番号が振られるので、これを友達に伝えておこう。なお、登録情報の一部は、全ユーザーから参照されるので、プライバシーを守るため、あまり細かいところまでは入力しないことも重要だ。

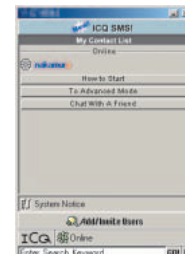


2 ICQをインストールしたら、「Add/Invite Users」で友達を追加する。ここでは、ユーザー名やICQナンバーでの検索ができる。



3 自分の状態は、左下の「Online Status」で「Available/Connect」「Offline/Disconnect」を切り替える。

4 状態を切り替えると、友人として登録しているユーザーに、色でその状態を知らせてくれる。ICQでは、このほか、相手にメッセージを送信してチャットしたり、相手が不在の場合でもメッセージを届けておいたりできる。ただし標準状態では、日本語の一部が化けるので、メッセージの送受信に使うのであれば、日本語化パッチをインストールしておかなければならない。





1

自宅の訪問者に  
外出先から対応する



常時接続のブロードバンド化が進んで通信帯域が広がれば、映像や音声の実用レベルでの通信が可能になる。

外出中に自宅に訪問者があっても、テレビドアホンの映像と音声をネットワークを通じてやり取りすることで、自宅にいなくても対応できるようになる。

3

外出中でも洗濯、  
お風呂のお湯張りOK

エアコン、冷蔵庫、洗濯機、お風呂など、家の中のすべてのものがネットワーク化される。帰宅前にエアコンのスイッチを入れておけば、夏の暑い日でも自宅のドアを開ければすぐに涼しくなれる。もちろん、帰宅したときにはお風呂もすぐに入れるわけだ。



2

家族間の連絡は  
ウェブページで行う

食事の用意をしようと思って冷蔵庫を見てみると、足りない物が……。そんなときには家族用のウェブページに品物の名前をリストアップ。  
外出中の家族がそれを見て、自分が買って帰れるものにチェックを付ける。いちいち電話する必要もないし、ダブって買ってくる心配もない。

これからの Smart House のあり方

# 常時接続が生む未来像

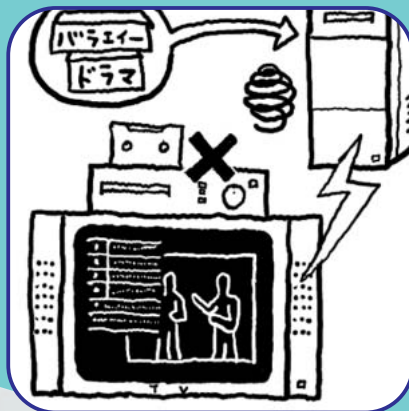
常時接続を大いに活用できるあらゆる機能をこれまで紹介してきたが、さらに今後、常時接続は私たちをどんな生活に導いてくれるのか。近い将来に実現すると思われる「Smart House」をここに紹介しよう。

# 4

## テレビ番組はすべて VODでも配信され ビデオが不要に

常時接続環境がさらにブロードバンド化すれば、映像の配信もラクラクできる。テレビ局もネットワークを利用した配信を行い、すべてを見れるようになるかもしれない。

そうすれば、ビデオは必要なくなる可能性だってある。欲しい映像はいつでもビデオオンデマンド（VOD）ネットワークを通じて手に入るわけだから。



# 5

## 旅先から 餌や水を与える



自宅でペットを飼っていたり植物があったりすると、旅行になかなか行きづらい。しかし、餌も水もすべてネットワークから与えられるとしたら、短期間の旅行にでかけられるようになる。

餌を与える装置がネットワーク化されたいはずはない。

# 6

## 常に最新ニュースが届き 重要な情報は 音でも通知

常時接続になったら、いつでも情報を受け取ることができる。即時性が要求されるニュースなどは、常に家中のモニターに表示されているといったことも現実的な話となる。

ニュースのフィルタリングをしておいて、重要なものは音でも知れるようになる。





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)